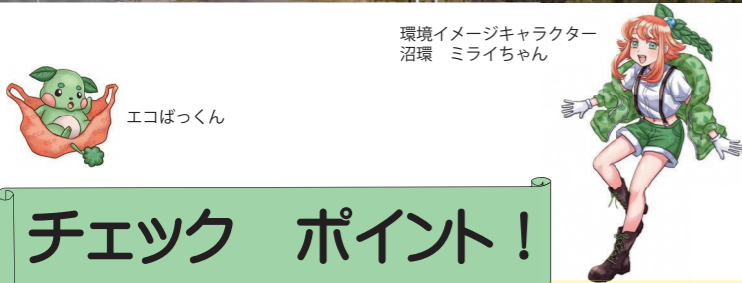


# し まも 知ろう、守ろう!

## ぬま づ い 沼津の生きもの



### アクアプラザ 遊水地版



### チェックポイント!

アクアプラザ遊水地は、湧き出した地下水を利用して水路や池を造った湿地で、草刈りを定期的に行い、昔からの浮島ヶ原湿原を保つようにしています。

静岡県内で、浮島ヶ原（沼津市と富士市）にしか自生していない、希少植物「サワトラノオ」がアクアプラザ遊水地に生育しており、春になると開花した様子を見ることができます。その他にも様々な希少種が生育しています。



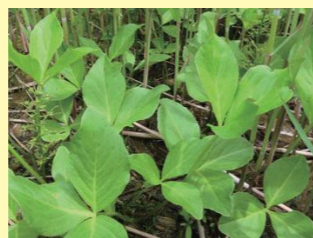
サワトラノオ (サクラソウ科)  
静岡県版レッドリスト 絶滅危惧ⅠB類

低湿地に生える軟弱な多年草。4～5月に多くの白花をつけます。



ヒメナミキ (シソ科)  
静岡県版レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類

湿地に生える多年草。6～8月に白色で紫の斑がある花を咲かせます。



ミツガシワ (ミツガシワ科)  
静岡県版レッドリスト 要注目種 分布上注目種等

抽水性の多年草で、3枚の大きな葉が特徴です。4月に白花がつきます。



ナガバノウナギツカミ (タデ科)  
静岡県版レッドリスト 要注目種 部会注目種

水ぎわに生える一年草。7～10月に咲き、柄に多くの毛があります。



Proud NUMAZU

～気づく環境・築く未来～

2026年3月 沼津市 環境政策課 Tel:055-934-4740

編集・デザイン：株式会社自然環境リサーチ

## ～アクアプラザ遊水地の貴重な生きもの～



サクラソウ (サクラソウ科)



ノウルシ (トウダイグサ科)



ケリ (チドリ科)



カヤネズミ (ネズミ科) の巣



クサガメ (イシガメ科)



ニホンスッポン (スッポン科)



ニホンアカガエル (アカガエル科)



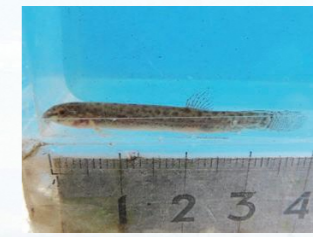
スゲドクガ (ドクガ科)



ヒメジャノメ (タテハチョウ科)



ニホンウナギ (ウナギ科)



ドジョウ (ドジョウ科)



カワアナゴ (カワアナゴ科)

## ～特定外来生物～

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。その中でも、生態系などに被害を及ぼすため、特に注意が必要なものを「特定外来生物」といいます。

アクアプラザ遊水地には「ウシガエル」や「カダヤシ」などが生息しています。これらは、日本に昔から住む生物を食べたり、えさやすみかを奪ってしまう恐れがあります。

また、「ミシシippアカミミガメ」や「アメリカザリガニ」は「条件付特定外来生物」とされており、飼うことはできてもその後放すことや逃がすことはできません。捕まえても持ち帰らないようにしましょう。



ミシシippアカミミガメ (ヌマガメ科)



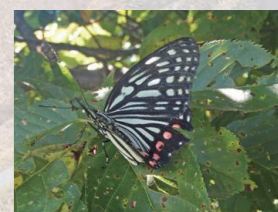
ウシガエル (アカガエル科)



アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)



カダヤシ (カダヤシ科)



アカボシゴマダラ (タテハチョウ科)

外来生物の被害を防止するために、

- ①「入れない」 外来生物を日本に入れない。
- ②「捨てない」 ペットや観葉植物などの外来生物を捨てない、逃がさない、放さない。
- ③「拡げない」 すでに野外にいる外来生物をほかの地域に拡げない。

**みんなで守ろう!**

# 生きものを探してみよう!

アクアプラザ遊水地には、四季を通じて貴重な生きものが多く見られます。遊歩道を散策しながら観察をしてみましょう。



## 哺乳類



ニホンジカ

親子の姿が見られました。山から来て、しばらく遊水池に住んでいたようです。

## 両生類



ヌマガエル

温暖な地方のカエルで、腹面が白いことでツチガエルと区別できます。

## 鳥類



カルガモ

よく見られるカモで、日中は休息して夕方から活動することが多いです。



ダイサギ

全身白、黒い脚、黄色いくちばしの特徴。魚類、カエルなどを食べます。



アオサギ

青みがかった灰色の体と長い首・脚が特徴。飛ぶとき首をS字に曲げます。



カワセミ

なわばりもち、時間通りに行動し、くちばしの下が赤いのが雌、黒が雄です。



モズ

繁殖期以外は1羽でなわばりもち、トカゲ、カエル、昆虫などを食べます。



シジュウカラ

繁殖期以外は他の鳥が混じった群れで生活します。昆虫、実、種などを食べます。

## 植物



花は6~8月

ハンゲシヨウ

花びらはなく、花に近い葉が半分白くなることで昆虫を呼び寄せます。



花は7~8月

ミソハギ

夏の花で、祭事などでみそぎに使われ、みそぎはぎから名がついたそうです。



花は8~10月

チョウジタデ

水田やあぜでよく見られ、中には赤色になる個体があります。



花は7~10月

サクラタデ

花びらが大きく桜色になります。



花は7~10月

ミゾソバ

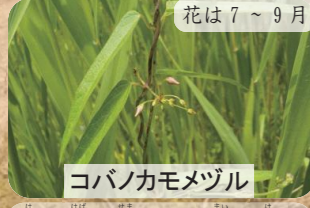
ほこ型の葉が特徴で、溝で広がります。



花は7~8月

クサレダマ

根をのばして群生します。花が円すい形につきます。



花は7~9月

コバノカモメヅル

葉の幅が狭く、2枚の葉がカモメの翼に似ることから名がついたそうです。



花は5~6月

ナヨナヨワスレナグサ

ワスレナグサに似て繊細。帰化植物とされていますが、分布は浮島ヶ原のみです。



花は9~10月

ヒメジソ

花が小さく、香りが少なめで控えめな様子から名がつけられました。

## 昆虫類・クモ類



4~11月

アオモンイトトンボ

おもに平野の池で見られます。似たアジアイトトンボより胸が大きいです。



6~9月

ウチワヤンマ

腹部に大きなうちわ状の突起を持ち、岸近くの枕や枝先によく止まります。



4~10月

コフキトンボ

体が短く、成熟すると白い粉をふきます。広い池を好みます。



5~8月

ハラビロトンボ

小型で胸が幅広いです。植物が繁った浅い湿地を好みます。



5~12月

アキアカネ

雄の頭と胸は赤くなく、若い個体は山地で夏を過ごします。



8~11月

コバネイナゴ

水田周辺の草で見られ、はねは短く後脚のひざを超えません。



4~11月

キマダラカメムシ

中国からの移入種。街路樹のソメイヨシノによく発生します。



5~11月

イチモンジセセリ

幼虫はススキやイネを食べます。夏から秋にかけてニラの花に集まります。



7~11月

ナガコガネグモ

草地にすみ、垂直の円網を張ります。危険を感じると網をゆすります。

## 甲殻類



456 ミナミテナガエビ

成熟した雄は細長いハサミ脚を持ちます。腹部の黒帯がありません。



クロベンケイガニ

湿った場所に巣穴を掘ってそこに潜み、甲羅が四角くゴツゴツしています。



ベンケイガニ

クロベンケイガニに似ていますが、全身が赤く、額の突起が2つあります。



モクズガニ

はさみに毛があります。淡水性のカニとしては大物です。

## 魚類



コイ

雑食性でなんでも食べるが、巻貝が好物。これは体高の高いヤマトゴイ型。



ギンブナ

水田周辺では近年減っています。雄の個体数が極端に少なく、ほぼ雌です。



タイリクバラタナゴ

中国からの移入種で、丈夫なため各地で見られます。



オイカワ

普段は銀白色ですが、繁殖期の雄は体側が鮮やかな青緑色や赤色に染まります。



モツゴ

水の汚れに強い。雄が卵を保護する習性があります。



シマヒレヨシノボリ

以前はトウヨシノボリ池沼型と呼ばれ、一生を池沼などで生活します。